

下関市男女共同参画レター 16

＜男女共同参画推進月間特集＞

山口県では、性別や年齢にとらわれずに、男女が対等なパートナーとして個性と能力を発揮することのできる男女共同参画社会の実現を目指して、特に、毎年10月を「男女共同参画推進月間」と定め、重点的に広報・啓発活動を行っています。

下関市では、2つの催しを行いました。



令和5年度 男女共同参画意識啓発事業 「木山裕策講演会」を開催しました！

「子育てで深めよう！家族の絆 ～コロナ禍で見つめ直したコミュニケーションの力～」

令和5年10月21日(土曜日)、シーモールホールにて、下関市と男女共同参画ネットワーク下関さんしゃいん21の主催で「木山裕策講演会『子育てで深めよう！家族の絆～コロナ禍で見つめ直したコミュニケーションの力～』」を開催しました。当日は、205人の市民の方にお越しいただきました。子育てを通して男女共同参画について考える良い機会となったことはもちろんのこと、最後に木山裕策さんの歌唱もあり、会場全体があたたかい雰囲気に包まれました。



参加者の声

- ・たくましい子育てをするために、夫婦で実践したこと。大変勉強になりました。(50代、女性)
- ・病気をきっかけに家族との向き合い方子育てなど大変参考になりました。歌も心が満たされました。(40代、男性)
- ・内容がとても分かりやすく、自分を見つめ直す良い機会となりました。ありがとうございました。(50代、男性)
- ・心を育てる子育て、ティータイム、とても楽しく、ひびきました。(60代、女性)

男女共同参画推進月間パネル展を開催しました

市役所本庁舎西棟1階エントランスホールにて、10月23日から27日まで男女共同参画に関するポスターやパネルを展示しました。

女性の社会参画や男女の家事分担に関するパネルの中から、人気投票を行ったところ、一番人気だったパネルは・・・？

「定年後一妻の心、夫知らず・・・」でした！



(公財)日本女性学習財団パネル「なるほどジェンダー」

10月は男女共同参画推進月間



夢わかちあい 個性きらめく明日へ
男女共同参画社会 山口県

令和5年度 女性に対する暴力をなくす運動「パープルライトアップ」



海峡ゆめタワー



消防局 中央消防署



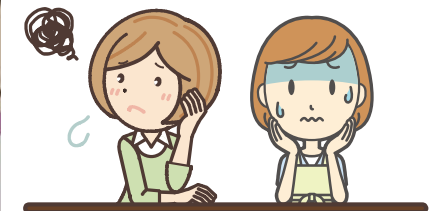
はい!からっと横丁大観覧車



太翔館



豊田湖畔公園



内閣府では、毎年11月12日から11月25日までを「女性に対する暴力をなくす運動」期間とし、女性に対する暴力根絶のシンボルであるパープルリボンにちなんで、全国各施設において毎年パープルライトアップを実施しています。パープルライトアップには、女性に対するあらゆる暴力の根絶と被害者に対して、「ひとりで悩まず、まずは相談をしてください。」というメッセージが込められています。下関市では、「海峡ゆめタワー」、「消防局 中央消防署合同庁舎」、「はい!からっと横丁 大観覧車」、「豊北歴史民俗資料館(太翔館)」、また、今年度は新たに「豊田湖畔公園」の5施設にご協力いただき実施しました。



令和5年度 DV防止講座「これって愛?～愛という名の暴力～」を開催しました!

令和5年11月10日(金曜日)、勝山公民館にて、アウェアデートDVファシリテーター・人権擁護委員の松田洋子氏を講師に迎え講座を開催し、DVの基礎知識や相談機関について具体例をあげて大変分かり易くお話いただきました。

参加者の方は、バイアスにとらわれないことや人権尊重意識の大切さ等を熱心に学ばれ、知識を深める講座となりました。



受講者の声

- ・DV家庭で子供が暴力を問題解決手段として覚えてしまうことを今回参加したことで初めて知ることができ、大変学びになりました。(40代、女性)
- ・これまでDVについて真剣に向き合ったことがなかったのですが、今回の講座で身の回りには目に見えない所にもDVにつながるきっかけが隠れていることが理解できたので、自分を見つめ直し、バイアスにとらわれないよう気をつけようと感じました。(10代、女性)
- ・講座の内容が今の時代にマッチしていた。(50代、男性)

キラりん☆TALK

今回は、下関市でフレッシュな輝きを放つ田中知香さんにインタビューをしました。



profile

田中 知香さん

宮崎県出身

下関市中央消防署 消防士(入庁1年目)

Q 現在の勤務は？

4月の採用後、消防学校に入り、11月に卒業しました。消防士で救急救命士の資格も持っています。今は、12月20日の査閲訓練に向けて、日々訓練に励んでいます。(取材日:12月12日) 様々なケースを想定して、消防車からホースを火災現場まで迅速かつ安全に延長する訓練を繰り返し、その感覚を身に付けています。

Q 消防士を目指したきっかけは？

小学生の頃、「消防士ってカッコいいな～」という漠然とした憧れがありました。ある時、医療職をしている私の母親が阪神淡路大震災のボランティアに行った時の話をしてくれ、大変な災害現場の中で傷病者を助けていく消防士や救急隊の姿を目の当たりにしたそうです。その話を聞いて、助けを求めている人のもとに一番駆けつけ、迅速に処置をする救急救命士を夢見るようになりました。

Q 実際に入庁してみてどうですか？

入庁前は、現場での活動が主だと思っていましたが、意外にも予防業務や事務作業の時間が多いと感じました。予防業務では、災害の際、建物には消防設備等が整っており、適正に使用できるか、消防・救急車両がスムーズに現場に急行できるかなど、整理しておかなければなりません。日々の事務作業をしっかりと行うからこそ、緊急の現場で生かせることが多いと、改めて事務の大切さを痛感しています。

勤務時間も24時間体制で、勤務日と非番を2～3回繰り返して休みとなるので、リズムを崩さないようにしています。訓練では、当初は男性についていくことが精一杯で、正直、きついなあと感じたこともあります。私たちがもっと体力や知識、技術を身に付けて、スムーズに活動することが、市民の皆様の安心・安全につながるんだと思うと、やりがいとともに頑張る力が湧いてきます。



Q 女性職員について

現在、女性の消防士は自分を入れて4名。先輩の方からよくアドバイスをいただいています。体力的には男性と同じレベルが難しいこともありますが、「出来ないことに悩むのではなく、出来ることに全力を尽くしていく」ようにして、早く先輩方に追いつきたいです。

Q 今後の目標は？

救急救命士として、人の命に関わる責任感を強く感じています。下関市の消防署は救急隊と消火隊のどちらも行うため、様々な場面で全般的に市民の方のために働きたいと思います。

Q メッセージ

消防士となり大変なことも多いですが、それを上回る経験ができて、日々自分が成長していると感じています。「女性だから」をマイナス面ではなくプラス面で捉えて、「女性の消防士ならではのことができることをどんどん広めていきたいです。」



Q 男性が多い職場について

男性が多いですが、「女性だから無理」とマイナスになる環境ではありません。同僚や指導者の方とも仲良く、男女同等に頑張れて、とても伸び伸びと勤められる、本当によい職場だと思います。



男女共同参画コラム



(内閣府男女共同参画局「令和5年版男女共同参画白書」)





新着図書

人権・男女共同参画課では、男女共同参画に関連した貸出し用図書(約400冊)を市役所 本庁舎 西棟4階の食堂前に備えています。身分証明書をご持参の上、ご利用ください。

貸出期間
2週間
以内

『わたしに会いたい』

ジェンダー
西 加奈子

『くもをさがす』の西加奈子が贈る、8つのラブレター。
この本を読んだあと、あなたは、きっと、自分の体を愛おしいと思う。
『わたし』の体と生きづらさを見つめる珠玉の短編小説集。

『超コミュカ』

その他
田村 淳

「なぜ、あの人はいつも周りとうまくやっているのか？」
“田村淳流”「好かれるコミュニケーション力」の教科書。「聞き方の極意」、「愛嬌の出し方」、「大人数での気配り」、「人間関係の築き方」まで、芸能界・最高級の技術を伝授。

『窓ぎわのトットちゃん』

その他
黒柳 徹子

第二次世界大戦が終わる、ちょっと前まで、実際に東京にあった小学校に通っていた女の子のことを書いたお話。小林宗作が作ったトモエ学園のユニークな教育と、そこに学ぶ子どもたちの姿をいきいきと描いた世界中で愛読されている黒柳徹子の自伝的作品。

『続 窓ぎわのトットちゃん』

その他
黒柳 徹子

国民的ベストセラー、42年ぶり、待望の続編!国内で800万部、全世界で2500万部を突破した『窓ぎわのトットちゃん』。世界中で愛されている、あのトットちゃんが帰ってくる!
泣いたり、笑ったり……トットの青春記。

『男尊社会を生きていく 昇進不安な女子たちへ』

男性、女性
下河辺 さやこ

「女性活躍推進法」によって身近になった「女性管理職」。管理職の仕事に不安を感じていたり、昇進すること自体にとまどいを感じる女性は多い。どうしたら男性優位の社会の中でうまく立ち位振る舞うことができるのか。今までにないビジネス本!

『「助けて」と言える社会へ 性暴力と男女不平等社会』

DV
大沢 真知子

コロナ禍で顕在化した性暴力、男女不平等社会の実態。性暴力被害者の実態や性暴力が生じるメカニズムを解明するとともに、性暴力のない社会を目指すためにどう取り組んでいくべきか。セクシャル・ハラスメントや性暴力問題の関心がある、悩みを抱える人へ。

『フェミニスト紫式部の生活と意見 現代用語で読み解く「源氏物語」』

フェミニズム
奥山 景布子

「フェミニズム」「ジェンダー」「ホモソーシャル」「おひとりさま」「ルッキズム」などを切り口に「源氏物語」を読み解く。そこに浮かび上がってきたのは、作者・紫式部の女性たちへの連帯のまなざしだった。希望ある未来へとバトンを繋げる新解釈。

『今日、誰のために生きる? アフリカの小さな村が教えてくれた 幸せがずっと続く30の物語』

その他
ひすいこたろう、
SHOGEN

魂が揺さぶられ、生きる喜びを分かち合いたくなる感動の実話!
アフリカにある、しあわせがずっと続く村、ブンジュ村。この村の人々が、生きる喜びに満ち、幸せに包まれて生活ができてるのは、「日本人から学んだ感性」を持っているから!

『パパが育休とってみたら 妻子への愛が深まった話』

子育て
パパ頭

家事には慣れてはいるつもりだったが、子を相手しながらの家事・育児は想像を絶する過酷さだった…!育休を取得してみないと分からなかったこと、妻子への愛情が深まった経験をつづったコミックエッセイ!

『夜明けのすべて』

その他
瀬尾 まいこ

PMS(月経前症候群)で感情を抑えられない美紗。パニック障害で生きがいの気力も失った山添。友達でも恋人でもないけれど、同志のような気持ちが芽生えた二人は、相手のことは助けられるかもしれないと思うようになり、少しずつ希望を見出していく。

『わたしxIT=最強説 女子&ジェンダーマイノリティが ITで活躍するための手引書』

ビジネス
NPO法人Waffle

プログラミング必修の時代に欠かせない、女子&ジェンダーマイノリティのための新しい進路応援ガイド。
「女性は理工系に不向き?」「IT分野は男性ばかり?」という不安を吹き飛ばす、知識とアドバイスが盛りだくさん。

『パッチワークファミリー 時がたつと…』

家族
いそがいこういちろう

離婚や再婚でツギハギになった家族=パッチワークファミリーの時間を描いた絵本。
作者の住むドイツでは、どんなカタチも「特別」ではなく「普通」のこととして、受容されています。「パッチワークファミリー」と呼んで受け容れてみませんか。

(※一部を掲載)

【発行】 下関市役所 本庁舎西棟4階 人権・男女共同参画課

〒750 - 8521 下関市南部町1番1号 TEL 083 - 231 - 7513 FAX 083 - 231 - 1437

E-MAIL smjinken@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

○この参画レターは、下関市立公民館をはじめとする社会教育施設(生涯学習プラザ・市立図書館等)に配布しています。